

## 9/6 今年も美味しいいちじくを

田布施町地域交流館で『いちじくまつり』が行われました。

販売所の前には長蛇の列ができており、いちじくを目当てに訪れた人は、販売者に今年の出来などを確認しながら、たくさんのパックが入ったカゴを手にレジへと向かっていました。

また、いちじく大福やいちじくジャム、いちじく外郎などいちじくの加工商品も数多く販売されていました。



## 9/9 感謝の気持ちを伝えました

今年も、各公民館や小学校など全8カ所で、『敬老会』が行われました。

西田布施公民館の会場では、児童から「いつもでもお元気でいてください」と温かい言葉が伝えられました。

また、催しでは園児たちが小気味良い音楽に合わせてダンスを披露し、来場したみなさんは、顔をほころばせながらその様子を見守っていました。



Tabuse  
Town News



## 9/18 思いきり手をあげよう！

町内小学校で、『秋季大運動会』が行われました。

台風により延期となった運動会でしたが、開催日は晴天となり、児童たちは笑顔でグラウンドを駆け回りました。

田布施西小学校の3・4年生の個人競技『魔法の花を手に入れろ！』では、自分が引いたカードと同じ色の花（ポンポン）を高く掲げ、ゴールへ走っていました。



## 9/10 運動会で地域種目を行いました

田布施中学校で『第60回秋季大運動会』が行われました。

地域種目となる玉入れには、小さなお子さんからご年配のみなさんまで、大勢の町民が参加していました。今年は、校内予選会を勝ち抜いた生徒代表との対戦となり、白熱した勝負が行われるとともに、中学生と町民のみなさんとの交流の時間となりました。



## 9/2 力を合わせて準優勝！

麻郷小学校の河北雅哉さん（6年）・寺田海理さん（6年）・寺田黎さん（3年）・河北果南さん（3年）が『第14回文部科学大臣杯 小・中学校囲碁団体戦全国大会』で、全64チームの中を勝ち上がり準優勝となりました。

寺田海理さんは、「中学生になっても囲碁を続けたい」と、笑顔で語りました。

また、河北雅哉さんは、夏開催の『第38回少年少女囲碁大会山口県大会』でも準優勝しました。



## 9/10 献穀米の稲を刈り入れました

5月24日に行われた新嘗祭の献穀米お田植式で植えられた稲が、実りの季節を迎えました。（お田植式については、6月広報に掲載。）

抜穂式が開催された後、奉耕者ご夫妻と町長・JA南すおう職員など17人が一列に並び、関係者のみなさんが育てた立派な黄金色の稲を一斉に刈り入れました。

今回刈り入れられた献穀米は、11月に皇居で行われる新嘗祭で献上されます。



## まちのできごと

## 9/19 全国社会教育委員連合会から表彰

田布施町社会教育委員会会長の河内孝行さんが、社会教育振興の功労者として全国社会教育委員連合会から表彰されました。

河内さんは、社会教育とは、『人と人とのふれあいやつながりにある』と提唱され、学校・家庭・地域の連携やおやじの会の立ち上げなどにリーダーシップを発揮し、本町社会教育推進の要として大きな役割を担われています。



## 8/24 正しい手洗いを学びました

城南児童クラブで、『手洗い教室』が開催されました。これは、毎年8月の『食品衛生月間』に食の安心・安全に対する取り組みのきっかけになるよう、山口県が実施しているものです。

柳井健康福祉センターの講師が、手洗いの大切さを児童に説明しました。その後、正しく手を洗っているかを調べる『手洗いチェッカー』を使用して実習を行い、児童たちは興味深々様子でした。

